



井上わたるの

県政報告

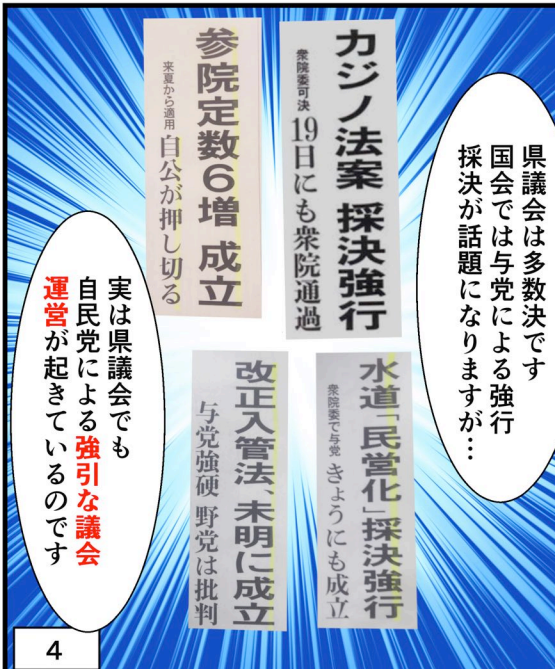
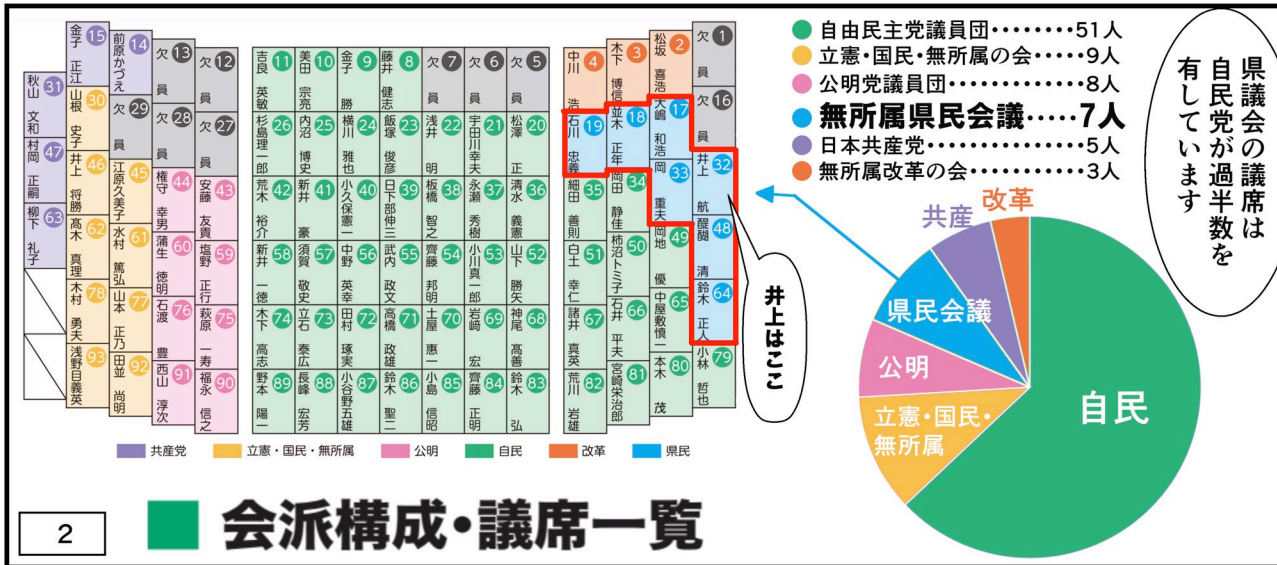
配るホームページ第66号

発行元 埼玉県議会議員 井上わたる事務所
連絡先 (埼玉県議会 無所属県民会議 和光支部)

〒351-0112 埼玉県和光市丸山台1-10-18
アントワープ平岡503号室
TEL:048-424-3684 / FAX:048-424-3854
E-mail: inoue_airline@yahoo.co.jp

あなたは **169万4915** 番目の読者です。

前号までにお届けした枚数です。



2017年自民党県議団所属の議員が政務活動費を不正使用する事件がありました(その後、当該議員は辞職)



私たち会派はこの問題を受けて「政務活動費の領収書のインターネット公開を求める請願※」を提出しました

※「請願」…県民が県政についての要望事項等を議会で審査するよう求めること。請願を提出するには「紹介議員」となる県議が必要。

県議会政活費

公開度 本年度46位

不祥事後も透明化進まず

その結果埼玉県議会は「政務活動費情報公開度ランキング第46位」となっていました。議会の活性化にはもっとしがるみがない議員が必要なのです!

しかし!

多くの会派が賛成する中で、当の自民党だけが「継続審査」を主張し既に公開の賛否は1年以上先送りとなっています

9月定例会では県議会の「定数見直し」の議論が行われましたが自民党はこれにも「現状維持」を主張しました

それに対し私たち会派は「定数2名削減」を行う条例改正を提案しました。しかしながら自民党等の反対で定数削減は実現しませんでした

本会議で条例提案を行う井上

自民党県議団のこうした独善的な議会運営についてメディアでも

県内経済界からは「本質的な論戦が乏しく県政の停滞を招いている」との冷めた声も上がる。

県選出の自民党国会議員も「知事の足を引っ張るだけで県民のほうを向いていない」と漏らす。

と報じており県民にとってプラスはありません。さらに私は県政の停滞どころか「埼玉県の社会的信用を下げている」と危惧しています

自民党が不服としたために県政に多大な影響が及んだ例がこちらです

和光市を含む県下市町村の特別養護老人ホーム建設計画を一時的(約3か月)にストップ

建設を予定していた市町村社会福祉法人、建設企業などへの影響大

国の補助を受けて決定していたイオングループと久喜市と県で進めるトマト農場建設

自民党が「地元農家にも還元すべきでイオンに独り勝ちさせてはいけない」との理由で計画のスタートが約2年遅れる

「彩の国功労賞」の授与に議会承認が必要とする変更を実施。(従来は知事が決定していたため、すぐに授与出来ていた。)

・平昌パラリンピックメダリストへの表彰は猛暑の7月に実施
・6月のサッカーW杯出場選手への授与は12月定例会で承認(授与は平成31年1月以降の予定)

- ・教育長の任命を遅らせたことにより、教育長不在の期間を作った
- ・問責決議を可決させ、教育の責任者である教育長を文教委員会に参加させない
- ・中高一貫校の新設をストップさせている
- ・議場で自民党議員から「県立高校なんかいらなんだよ!」というヤジが飛び
- ・教員のタイムカード導入をストップ(残業時間計測が進まず働き方改革進まず)

そして「公教育に後ろ向き」な点も今の自民党県議団の風潮だと感じています

色々述べてきましたが私が県議会で正論を主張してこられたのは無所属だからこそだと思います!

私はこれからもより県民に近い立場で声を上げ続けていきます!和光から声を上げていきましょう!